

2025 年 4 月 28 日

各位

株式会社フジテレビジョン
株式会社フジ・メディア・ホールディングス

フジテレビ『サステナビリティ経営委員会』設置及び開催について

株式会社フジテレビジョン（以下、「フジテレビ」）は、2025 年 4 月 24 日開催の取締役会で「サステナビリティ経営委員会」（以下、「委員会」。委員長：清水賢治フジテレビ代表取締役社長）の設置を決議し、本日、第 1 回の委員会を開催しましたのでお知らせいたします。

1. 委員会概要

委員会は、2025 年 3 月 31 日付で発表した「フジテレビの再生・改革に向けて」¹に記載の通り、人権尊重の徹底やフジテレビの未来を見据えた人的資本経営戦略の推進を含む「サステナビリティ経営」の実現に向けて、中長期的かつ持続的な企業価値向上の視点を踏まえた全社横断的な議論を行っていきます。これにより、第三者委員会の調査報告書で提言されている部署横断的な人権方針実施体制を構築します。

この委員会は、フジテレビが、ここで働く全ての人や社会のあらゆるステークホルダーの方々に真摯に向き合い、企業理念を再定義して企業価値を向上させていくための改革を主導する、最も重要な組織となります。

2. 「サステナビリティ経営」と「人的資本経営」の実現

（1）サステナビリティ経営

企業として自らの活動を支える社会・環境等に対して及ぼす負の影響を低減し、経営上のリスクを軽減しながらレジリエンス（経営環境の変化にしなやかに対応し持続的に成長する力）を高め、また幅広いステークホルダーからの信頼を確かなものとするにより、中長期的かつ持続的な成長を目指します。

（2）人的資本経営

人を単なるコスト（人件費）として捉えるのではなく、人が持つスキルやノウハウ、能力等を「価値を生み出す元手=資本」と捉え、経営戦略の一環として投資や環境整備を行い、人材を育て、伸ばし、活かし、企業価値向上につなげていく経営を行っていきます。

¹ 株式会社フジ・メディア・ホールディングス（以下「FMH」）の 2025 年 3 月 31 日付「[「人権・コンプライアンスに関する対応の強化策について」](#) 添付資料

3. 従前の体制からの変更点

これまで、フジテレビの関係部署が個別に所管してきた人権・DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）・人的資本等に関する取り組みを、サステナビリティ経営に関する課題として俯瞰しつつ、各部署の垣根を越えて全社的かつ横断的に統合します。経営レベルで課題を的確に把握・議論し、迅速かつ整合性のある意思決定に繋げる体制を構築することで、これらの要素をより効果的に経営戦略へ組み込むことを可能にします。

これにより、社員・スタッフをはじめ事業に関わる全ての人たちが、人権を尊重され、心理的安全性の確保された中で個々の力をいきいきと発揮できる環境を実現し、生産性や競争力の向上、新規事業の創造、そして社会への貢献を通じて、企業価値の持続的な向上に繋げていくことを目指します。

4. 運営体制等

フジテレビ代表取締役社長を委員長とし、すべての部署が参画します。具体的には、各テーマに応じて関係する部署の参画を求めています。

委員会の議論状況は都度フジテレビの取締役会に報告し、取締役会によるモニタリングの対象としつつ、重要な取組方針等について取締役会で決議する予定です。あわせて、FMHのグループ人権委員会及びサステナビリティ委員会にも報告し、グループ全体での取り組みとの一貫性を確保し、FMHによる監督を行います。

5. 本日の協議事項

第1回である今回は、全社の常勤取締役、執行役員、局長等が出席しました。サステナビリティ経営委員会設置の趣旨・役割を確認の上、中長期的かつ持続的な企業価値向上のためのサステナビリティ経営の実現に向けて、人権尊重の徹底に向けた人権デューディリジェンスを全局室横断的に実施していくことや、経営戦略の一環として人材戦略を策定し人的資本経営を全社的に推進していくこと等について、協議を行いました。

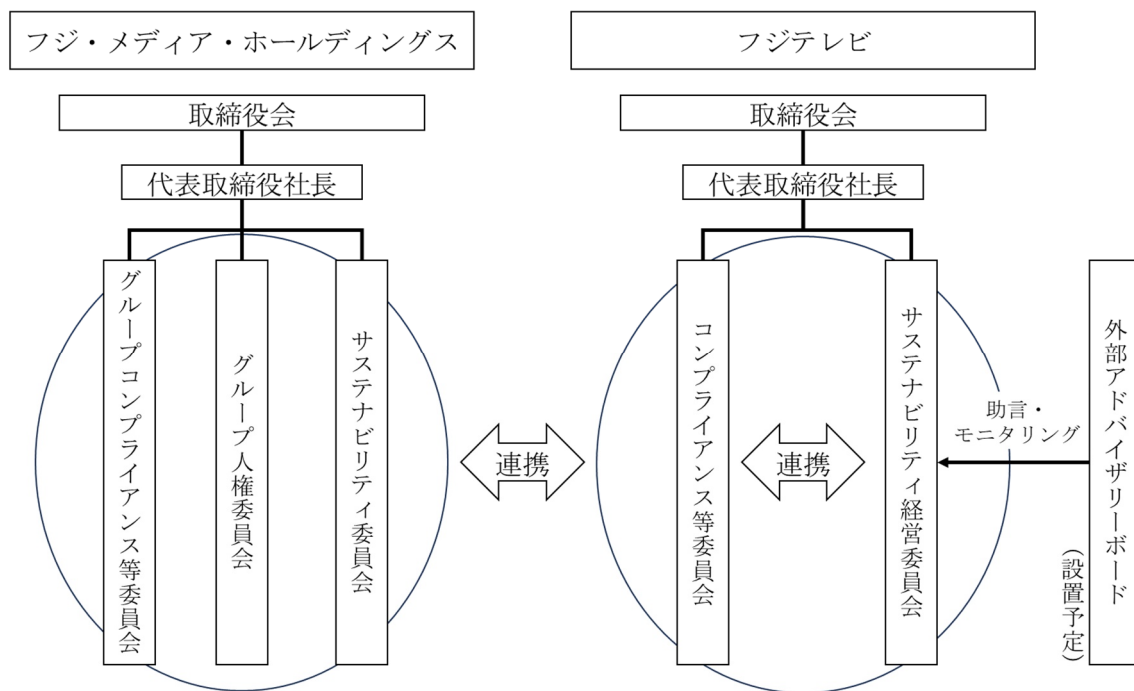
6. 今後に向けて

今後も継続的に委員会を開催し、両社のサステナビリティ経営の実現に向けて、実効的な施策を速やかに実行してまいります。

今後は、以下の点を含め議論を行い、協議の内容や各種施策の実施状況等について、随時開示していく予定です。

- ・人権や人的資本に関する個別の施策の実施方針及び課題状況の共有
- ・重要なリスク・事業機会となるサステナビリティ課題（マテリアリティ）に関する議論
- ・中期的な年度毎の計画策定、具体的な施策に関する議論
- ・各テーマについてのKPIの設定・モニタリング
- ・外部アドバイザリーボードの設置

7. FMH とフジテレビの当委員会の関係



以上